

■ 令和8年度 胆振管内教育推進の重点 ■

【推進テーマ】 多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにする学校づくり ～現行学習指導要領の確実な実現～

胆振の強み

- ◇新しい授業観に基づく各学校の授業改善の取組
- ◇特別支援教育に関する個別の相談を含む研修等の充実
- ◇望ましい生活習慣に関する研修ニーズ
- ◇地域の教育資源を活用した教育活動
- ◇管内各市町教委や校長会等と連携したミドルリーダー等の育成

重点1

児童生徒の資質・能力の向上

- 「好き」を育み、「得意」を伸ばす授業づくり
- 自律した学習者となるための主体的・対話的で深い学びの実現
- 幼保小や小中高の接続における**意図的・計画的な指導の継続及び授業改善
- 運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成
- 高校段階につながる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**
- 意図をもった指導時間の確保と学力向上に向けた検証改善サイクルの確立**

重点2

安心して学べる環境の充実

- 自己存在感や自己有用感を高める取組の充実
- 特別な教育的支援など**多様な教育的ニーズに応じた学びの場の保障及び充実
- 管理職を含む全ての教員の特別支援教育に関する専門性の確保・向上
- 道徳教育の推進・人権教育（ESD等）の充実**
- いじめの防止の取組の充実**といじめの積極的認知
- 組織的かつ計画的なスクリーニングの実施と認知特性などを踏まえた学びの土壌の整備**

今後の課題

- ◆求められる授業像の共有
- ◆学校種間の授業改善の連携
- ◆多様なニーズに応じた適切な教育課程の編成・実施
- ◆授業と家庭学習が関連した家庭学習習慣の確立
- ◆持続可能な胆振の創り手育成
- ◆時間外在校等時間縮減に向けた一層の意識改革

重点3

生活・学習習慣の確立

- 地域と連携した生活リズムの改善に向けた取組の充実
- 授業と連動して家庭学習を進める取組の充実
- 望ましい電子メディアの利活用の推進
- 『うねなえコネクト』等の生活指導事項及び学習指導事項の随時見つけ直しと反転学習への挑戦
- 望ましい電子メディアの利活用の啓発等を通じた学校、家庭、地域が連携・協働した生活習慣の確立

重点5

教職員の資質・能力の向上

- 北海道における教員育成指標を活用した取組の一層の推進
- 「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた取組の促進
- 信頼される学校づくりに向けた取組の実施
- 「学び・学び合う研修」※研究主題の解決と個々の日常実践が連動する協働的な研修体制の確立
- 専門性と強みを発揮するための教職員が「学び・学び合う時間」の確保

重点4

地域との連携・協働

- 地域の問題解決に向けた行動を実践・発信する機会の創出
- 持続可能な地域づくりに向けた人材を育てるふるさと教育の推進
- 地域と協働した部活動の「地域展開」の在り方の検討・推進
- 家庭、地域（CS等）の教育力をいかした学びの土壌の整備
- 地域ボランティア等、児童生徒の地域参画を促す機会の設定
- 持続可能な植苗の創り手育成
- 丁寧な情報発信と参観機会の確保

重点6

働き方改革の推進

- 「働きやすさ」と「働きがい」を両立し、仕事の質を高める働き方改革の更なる加速化
- 北海道アクションプランに基づく「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現
- 質の高い教職員集団の形成のための働き方改革の推進（「働きやすさ」と「働きがい」の両立）
- ※「北海道AP（第3期）」「苫小牧市働き方改革加速化計画」の着実な推進と不祥事根絶に向けた意識の醸成（「自分ごと化」と「自分たちごと化」）